

2021 年度
健康科学大学

総合型選抜 (A0) I 期

2020 年 10 月 10 日

2021 年度健康科学大学入学試験
小論文試験問題（総合型選抜 A0 I 期）

次の文章を読み、あとの問いについて別紙解答用紙に記述しなさい。

歴代の学者たちが、「知」は技術につながる①ガイネンであり、「徳」によって補完されたり、軌道修正されたりする必要があると述べているわけだが、では、「徳」とは何か。

「徳」は、社会で共有されている価値観や習慣、伝統といったものに根差し、人間の生活の中で a 培われてきたものだ。そのような「徳」は、教育など社会の影響を通じて、個人に内面化され、大人から子どもへと伝えられていく。そうやって「徳」を伝えられた子どもが大人になり、社会を②ケイセイすることで、真っ当な社会と真っ当な個人が互いに互いを再生産し合うという関係が築かれる。

だが、近代に入って、この関係は崩れていくことになる。近代以前のヨーロッパでは、「徳」とはすなわち、キリスト教的価値観や、都市国家の共同体的価値観に基づくものであった。そうした「徳」を内面化したものが「有徳な個人」であり、「有徳な個人」が社会で「徳」に b 則った振る舞いをすると、社会がきちんと秩序だったものに見える。しかし、近代に入って、価値観が多様化すると、それぞれの価値観が衝突し、「有徳」は c 一義的に決められなくなってしまった。こうした価値観の衝突が起こるのは個人対個人ではもちろん、ひとりの人間の内部においても、たとえば社会人としての価値観と家庭人としての価値観が d 相容れず矛盾するというのは、よくあることだ。

「有徳」が定まらなければ、「真っ当な社会」と「真っ当な個人」が互いに再生産し合う歯車も一定方向には回らなくなる。たとえば、それまで「徳」の③モハンとなっていた近所の「おじさん」や「おばさん」から子どもたちが社会的マナーを教わるようなことは、もはや e 稀になってしまった。それどころか、保育園や幼稚園の建設に「近所の大人たち」が反対する、という事態が④ヒンパツし、「子どもを教育・保育する」という「価値観」と「静かな環境を守る」という A 「価値観」の対立は、今や解決不能な社会問題にすらなっている。

これでは、互いの「価値観」が衝突し合うばかりで、いったい何が「有徳」なのか、個人も社会も⑤コンランするばかりだ。そこまで崩れてしまった「徳」という考え方に、もはや「知」の暴走を防ぐことなど期待できないのではないか。「徳」が「知」を補完できると考えられていた時代には、こう言ってよければ、技術はまだ社会の一部だった。しかし今や、その関係は逆転し、まるで社会こそが技術の一部であるかのようだ。

（堀内 進之介 著、人口知能時代を＜善く生きる＞技術、集英社、2018年）

問1. 本文中の下線部①～⑤のカタカナを漢字で書きなさい。

① ガイネン ()

② ケイセイ ()

③ モハン ()

④ ヒンパツ ()

⑤ コンラン ()

問2. 本文中の下線部 a～e の漢字をひらがなで書きなさい。

a 培われてきた () われてきた

b 則った () った

c 一義的 ()

d 相容れず () れず

e 稀 ()

問3. 下線部Aの「価値観」の対立は、今や解決不能な社会問題にすらなっている。という筆者の考えに対し、あなた自身の考えを500字以内で述べなさい。

2021 年度健康科学大学入学試験
小論文試験問題（総合型選抜 A0 I 期）

受験番号

氏名

問 1. 本文中の下線部①～⑤のカタカナを漢字で書きなさい。

- ① ガイネン ()
② ケイセイ ()
③ モハン ()
④ ヒンパツ ()
⑤ コンラン ()

問 2. 本文中の下線部 a～e の漢字をひらがなで書きなさい。

- a 培われてきた () われてきた
b 則った () った
c 一義的 ()
d 相容れず () れず
e 稀 ()

2021 年度健康科学大学入学試験
小論文試験問題（総合型選抜 A0 I 期）

問 1. 本文中の下線部①～⑤のカタカナを漢字で書きなさい。 1 問 2 点×5 問=10 点

① ガイネン (概念)

② ケイセイ (形成)

③ モハン (模範)

④ ヒンパツ (頻発)

⑤ コンラン (混乱)

問 2. 本文中の下線部 a～e の漢字をひらがなで書きなさい。 1 問 2 点×5 問=10 点

a 培われてきた (つちか) われてきた

b 則った (のっと) った

c 一義的 (いちぎてき)

d 相容れず (あいい) れず

e 稀 (まれ)

問 3. 下線部 A の「価値観」の対立は、今や解決不能な社会問題にすらなっている。という筆者の考えに対し、あなた自身の考えを 500 字以内で述べなさい。 80 点

採点基準

1. 文字数 (10 点満点)

450 字以上	10 点
450 字未満	5 点
300 字未満	0 点

2. 誤字脱字 (10 点満点)

同じ文字の誤字脱字については 1 回のみ減点

1 か所まで	10 点
3 か所まで	5 点
4 か所以上	0 点

3. 文章構成 (20 点満点)

話し言葉、「ですます・である」調の混在、段落分け、適切な句読点、ひらがなの多用 等

優れている	20 点
やや優れている	15 点
普通	10 点
やや劣る	5 点
劣る	0 点

4. 論旨 (40 点満点)

論旨の展開に一貫性がある、独創性や一般論等を踏まえている 等

非常に優れている	40 点
優れている	35 点
やや優れている	30 点
普通	25 点
やや劣る	20 点
劣る	15 点